

大阪毎日新聞

10月16日(日)
2022年(令和4年)

19面

筋肉美競演 大阪沸く

男子ボディビル・女子フィジーク日本選手権

日本ボディビル・フィットネス連盟主催の「第68回日本男子ボディビル選手権大会」と「第40回日本女子フィジーク選手権大会」が大阪市淀川区のメルパルク大阪で開かれ、筋肉美の競演に満席の会場は大盛況だった。「日本一」の栄冠は、男子で相沢隼人さん(22)＝東京都＝、女子で沢田めぐみ(61)さん＝同＝

が、ともに2連覇を果たした。9日に行われた両大会にはそれぞれ男子42選手、女子27選手が出場。筋肉量や筋肉のバランス、体形などが主な審査基準となる男子は、日本最高峰の熱戦が展開され、鍛え抜かれた筋肉を強調するポージングのたびに、会場は拍手と歓声に包まれた。



2連覇した相沢隼人選手(左から2人目、31番)

女子は健康的な美しさや表現力も重視されており、選手たちは表情豊かなポージングで観客の視線をきざぎざに引きつけた。大会に向けた努力の成果を披露した。

競技に先立って、大会を主管した大阪ボディビル・フィットネス連盟の河啓一会長は「ボディビル・フィットネスを行うことによって、筋肉だけでなく健康寿命が得られる。さらに人間力がプラスされると本人だけでなく、他人や社会にも幸せ寿命がもたらされるとあいさつした。」

(猪口隆)